

AnyClutch Remote for iOS User Guide

AnyClutch Remote ユーザーガイド (iOS向け)

Version 4.7.0

2022.02

お知らせ

AnyClutch Remote for iOS User Guide

Copyright © 2001~2020 RSUPPORT Co., Ltd. All Rights Reserved

Copyright © 2022 AIR Company Limited. All Rights Reserved

本マニュアルに記載されている事柄は、製品の性能向上または機能改善などにより、将来予告なしに変更する場合があります。

RSUPPORT株式会社（以下RSUPPORT）及び株式会社エアー（以下AIR）は、本マニュアルで説明した特殊用途以外に、市場性及び適合性などに対してどのような保証もいたしません。

RSUPPORT及びAIRは、本マニュアルに含まれた誤り、またはこの資料の供給や遂行または使用と関連して直接、間接、偶然、または必然的に発生した損害に対して、どのような責任も負いかねますのでご了承ください。

本マニュアルに対する著作権と知的所有権はRSUPPORT及びAIRが所有し、この権利は国内の著作権法と国際著作権条約によって保護されています。したがってRSUPPORT及びAIRの事前書面同意なしに、本マニュアルの一部、あるいは全体の内容を無断にコピー、複製、転載することは著作権法に抵触します。

iPhone、iPad、iPod TouchなどはApple Inc.の登録商標であり、著作権の保護を受けています。その他、本マニュアルに記載された他社所有の登録商標及び著作権、保護を受けている用語は、単に引用のためだけに使用されています。

本マニュアルのマークについて



利用上の注意事項です。
必ず指示に従ってください。



利用上の参考になる内容が
記載されています。

目次

1. 本マニュアルについて.....	5
2. AnyClutch Remoteの紹介	5
2.1 AnyClutch Remote とは?	5
2.2 RemoteView for iOS とは?	5
2.3 iOS 端末使用環境	6
2.4 RemoteView for iOS ご利用の流れ.....	7
3. アプリケーションインストールと削除.....	9
3.1 アプリケーションをインストールする	9
3.2 アプリケーションを削除する.....	10
4. 遠隔地PCを遠隔制御する.....	11
4.1 アプリケーションの初期設定を行う	11
4.2 プロキシを設定する	11
4.3 アプリケーションにログインする.....	12
4.3.1 アプリケーション画面説明.....	13
4.4 遠隔地 PC に接続する.....	14
4.5 遠隔地 PC を制御する.....	15
4.5.1 ツールバーメニュー	15
4.5.2 QuickMenu	16
4.5.3 マウス制御モードを切り替える  Mode	17
4.5.4 キーボードを使用して文字を入力する  KeyBoard	19
4.5.5 画面制御の設定をする  Screen	21
4.5.6 ウィンドウを制御する  Window	22
4.5.7 各種制御ツールを使用する  Tools	23
4.5.8 ショートカットキーを使用する  Shortcut	24
4.5.9 遠隔制御に関する設定を行う  Setting	25
4.6 遠隔制御を終了する  Disconnect	26

5. 遠隔地PCをコマンドで制御する.....	27
6. その他	28
6.1 2段階認証（OTP）を使用する	28
6.2 端末から言語を変更する	29

1. 本マニュアルについて

本マニュアルでは、AnyClutch Remoteで遠隔地PCを制御するために使用するiOSアプリケーション（RemoteView for iOS）を説明します。

2. AnyClutch Remoteの紹介

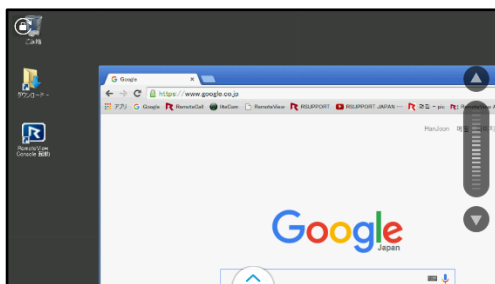
2.1 AnyClutch Remoteとは？

AnyClutch Remoteは、遠隔地PCに「Agent」プログラムをインストールすることで、インターネットを利用していつでも、どこでもPCやモバイル端末から遠隔地PCに接続して、簡単かつ安全にリアルタイムで遠隔操作できるサービスです。（Agentプログラムインストールについては、別冊のStandard/Enterpriseマニュアルを参照）

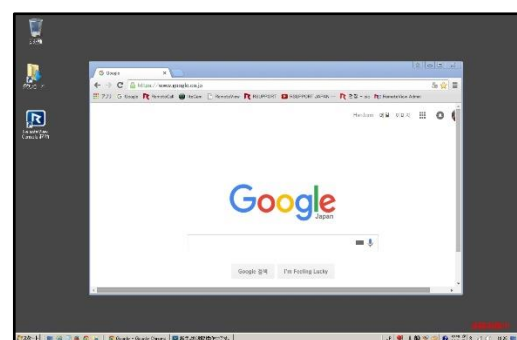
2.2 RemoteView for iOSとは？

iOS端末から遠隔地PCを制御するために必要なiOSアプリケーションです。アプリケーションをダウンロード後、インストールすることでお使いのモバイル端末からサービスをご利用いただけます。

（アプリケーションインストールについては、「[3.1.アプリケーションをインストールする](#)」を参照）



モバイル端末画面



PC画面画像

2.3 iOS端末使用環境

iOS端末のご利用推奨環境は以下のとおりです。

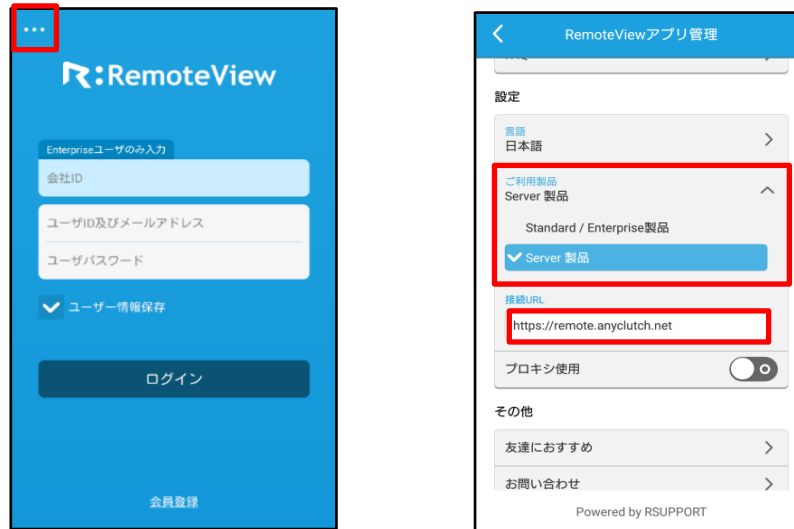
システム要件	
OS	iOS 12以降
端末	iPhone 5S以降、iPad 第5世代以降
ネット回線	Wi-Fi



- ・ iPhoneとiPod TouchやiPadは、全ての設定、遠隔操作などが同様に動作します。
- ・ iPod Touchは3G/LTEに対応していないため、Wi-Fiを利用したワイヤレスインターネットをご利用できない場合は、RemoteViewをご利用できません。
(遠隔地PCの使用環境については、別冊のStandard/Enterpriseマニュアルを参照)

2.4 RemoteView for iOSご利用の流れ

- ① App Storeから「RemoteView」と検索し、アプリケーションをダウンロード・インストールします。
- ② アプリケーションを実行後、設定を開きます。
 - ご利用製品設定を「Server 製品」に変更します。
 - 接続URLをタップし「https://remote.anyclutch.net」を入力します。



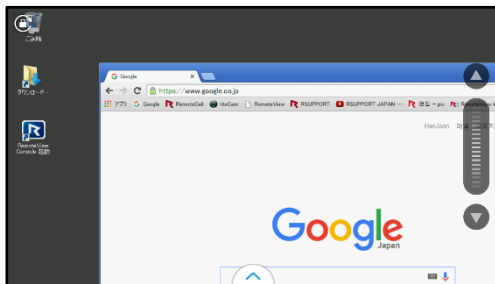
- ③ 設定画面を閉じ、ログインします。
 - 会社ID：会社ごとのIDを入力
 - 管理者の設定により、2段階認証が必要な場合があります。
(詳細は「[6.1 2段階認証 \(OTP\) を使用する](#)」を参照)



- ④ ログイン後、遠隔地PCやグループリストが表示されます。

遠隔制御したい遠隔地PCを直接制御したり、コマンドによる制御を行います。

(直接制御に関する詳細は「[4.2 遠隔地PCに接続する](#)」、コマンドによる制御に関する詳細は「[5. 遠隔地PCをコマンドで制御する](#)」を参照)



直接制御



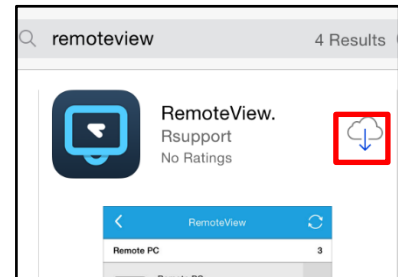
コマンドによる制御

3. アプリケーションインストールと削除

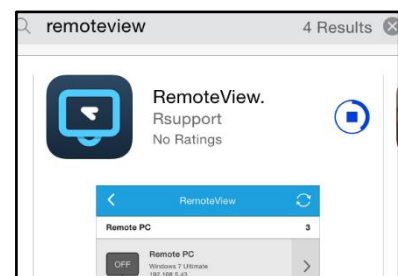
3.1 アプリケーションをインストールする

- モバイル端末からインストールする場合

- ① App Storeから「RemoteView」と検索し  アイコンをタップします。



- ② RemoteViewアプリケーションをダウンロード・インストールします。



- ③ インストールが完了すると画面上にアイコンが生成されます。



- iTunes からインストールする場合

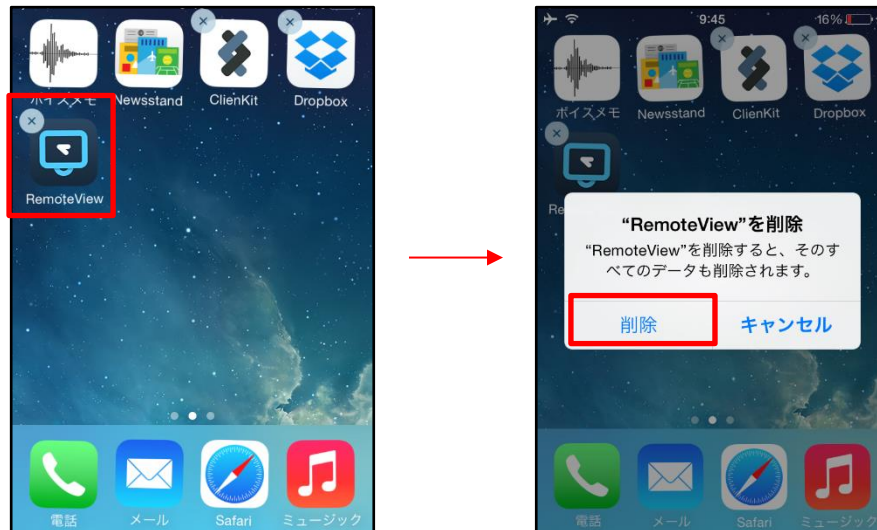
PC/MacにてiTunesを利用してApp Storeに接続し、「RemoteView」というキーワードで検索後、ダウンロードします。ダウンロード後、モバイル端末と同期化し、RemoteViewをインストールします。

3.2 アプリケーションを削除する

- モバイル端末から削除する場合

ホーム画面でRemoteViewアイコンを2秒ほど長押しすると、アイコンが揺れます。

「X」ボタンをタップ後、「削除」をタップするとRemoteViewアプリが削除されます。



- iTunes から削除する場合

iTunes > アプリケーションでRemoteViewを削除します。

(PC上の保存された場所にファイルを残すか選択することができます。)

削除後、モバイル端末と同期化を行い、RemoteViewを削除します。

4. 遠隔地PCを遠隔制御する

4.1 アプリケーションの初期設定を行う

- ① アプリケーションリストからRemoteViewを実行します。
- ② 左上の「設定」アイコンをタップします。
- ③ ご利用製品を開き「Server 製品」を選択します。
- ④ 接続URLに「https://remote.anyclutch.net」を入力します。
- ⑤ 左上の「戻る」アイコンをタップすると自動保存されます。



4.2 プロキシを設定する

プロキシサーバを使用する場合、HTTPプロキシ項目を確認後、「RemoteViewアプリ管理」ページで入力する必要があります。

- ① 端末の設定から、設定 > Wi-Fi > ⓘアイコンをタップし、HTTPプロキシ情報を確認します。



※「自動」でのProxy設定時のURLはプロキシスクリプトファイルのフルリンク先を入力する必要があります。

- ② ログイン画面の左上にあるアイコンをタップし、
「RemoteViewアプリ管理」ページの「プロキシ情報」に
先ほど確認したプロキシ情報を入力します。



4.3 アプリケーションにログインする

- ① ログインアカウントを入力し、ログインします。
「ユーザー情報保存」をチェックすると、入力したアカウント情報を保存することができます。

- 会社ID : 会社ごとのIDを入力
- 管理者の設定により、2段階認証が必要な場合があります。
(詳細は「[6.1. 2 段階認証 \(OTP\) を使用する](#)」を参照)

正常にログインされない場合は、誤字や大/小文字を確認後、再度入力してください。



4.3.1 アプリケーション画面説明



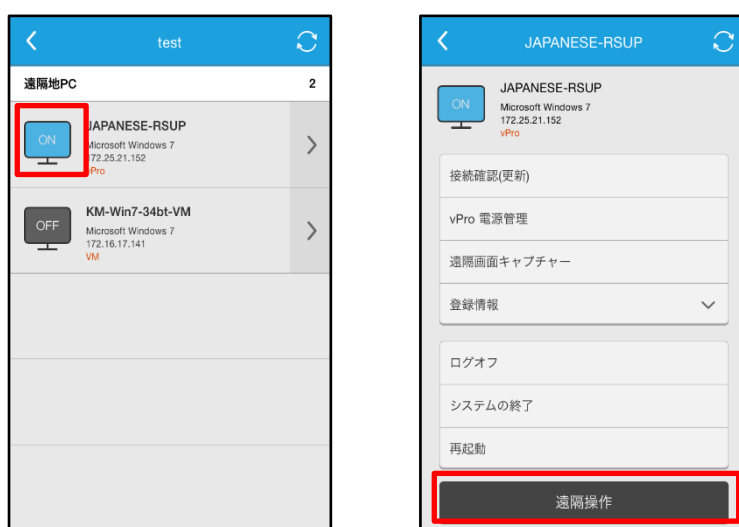
番号	アイコン	説明
①		アプリケーション管理ページに移動します。 詳細は「6.2. アプリケーションを管理する」を参照
②		画面を最新情報に更新します。
③		グループ名やデバイス名（遠隔地PC名）で検索します。
④		遠隔地PCのグループが表示されます。 アイコン右に表示されている数字：例 (1/2)は、遠隔制御が可能な状態のPC台数と、グループに登録されているPC台数を表します。
		グループに属している遠隔地PCを表示します。
⑤		遠隔接続中の状態です。
		遠隔接続可能 Agentがログインされている状態です。
		遠隔接続不可 遠隔地PCの電源がOFFかAgentがログアウト状態です
		遠隔地PCに対する機能を表示します。

4.4 遠隔地PCに接続する

遠隔地PCのAgentがログインされている状態の場合、手元のモバイル端末から遠隔地PCを手元で操作しているかのように直接制御することができます。

遠隔地PCに接続すると、手元のモバイル端末画面上に遠隔地PCの画面が表示され、あらゆる機能を利用して、遠隔地PCを遠隔操作することができます。

- ① AgentがON状態の遠隔地PCアイコンをタップするか、操作メニューの下段にある「遠隔操作」をタップします。



- ② タップすると、Agentログイン画面が表示されます。
ログインアカウントを入力後、「接続」をタップすると、遠隔地PCに接続されます。

- 管理者の設定により、2段階認証(OTP)による接続 / Windowsアカウントによる接続が必要な場合があります。



※ 注意 ※

3G/LTEをご利用する場合、パケット料金がかかりますのでご注意ください。

4.5 遠隔地PCを制御する

遠隔地PCに接続されると、遠隔地PCの現在の画面が表示されます。

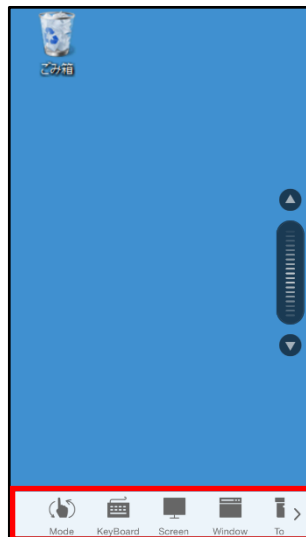
※設定によりQuickMenuが接続直後に表示されます。

4.5.1 ツールバーメニュー

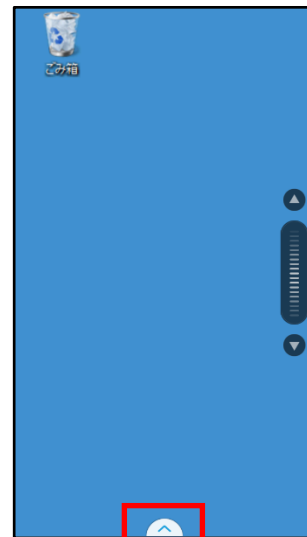
指で画面をタップし、マウスで遠隔地PCを操作するように簡単に操作することができます。

また、遠隔操作に有用な機能が下段ツールバーに表示されます。

画面をタップするとツールバーを非表示に、をタップするとツールバーメニューが表示されます。



ツールバー表示の場合



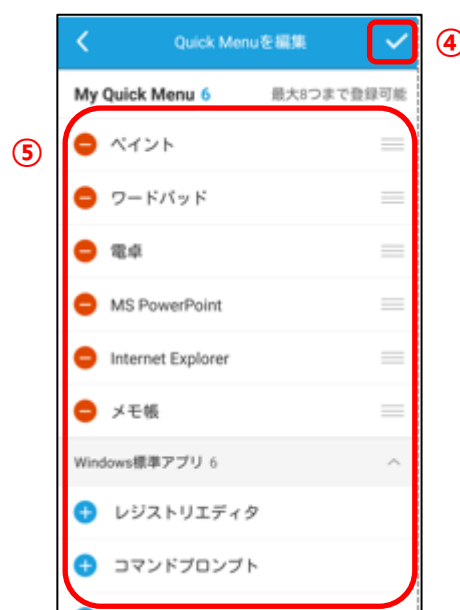
ツールバー非表示の場合

4.5.2 QuickMenu

接続後、設定によりQuickMenuが表示されます。

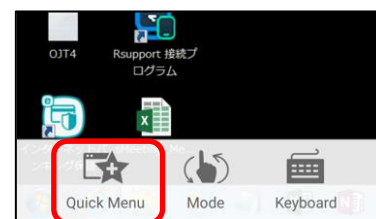


QuickMenu表示



QuickMenu設定

名称	説明
① 設定アイコン	QuickMenu設定画面に遷移します。
② QuickMenu	選択メニュー表示部。 選択したアプリが8個未満の場合「+」が表示され、設定画面へ遷移できます。
③ 常時表示の変更	チェックを外すと、接続後表示されなくなります。
④ 保存アイコン	設定を確定します。
⑤ 選択アプリ状況	⊖ : 選択したアプリ。⊖ をタップし、リストから解除します。 ⊕ : 未選択アプリ。⊕ をタップし、リストに登録します。 ☰ : QuickMenuに表示されるアプリの順番を変更することができます。
⑥ QuickMenu表示	QuickMenuを表示するツールバーメニュー



● 選択可能なアプリ一覧

1	ペイント	11	スクリーンキーボード
2	ワードパッド	12	MS Word
3	電卓	13	MS Excel
4	メモ帳	14	MS PowerPoint
5	レジストリエディタ	15	MS Outlook
6	Internet Explorer	16	コントロールパネル
7	コマンドプロンプト	17	プログラムの追加/削除
8	Windowsエクスプローラ	18	Chrome
9	タスクマネージャー	19	Firefox
10	リモートデスクトップ接続		

※デフォルトで登録されているアプリは経路が異なる場合があるため、動作しない場合、個別登録が必要です。

4.5.3 マウス制御モードを切り替える



遠隔地PCのマウスを制御する方法には、「タップモード」と「仮想マウスモード」の2通りがあります。接続時は「タップモード」になっています。

ツールバーにあるモードアイコン  をタップすると、マウス制御モードが切り替わります。

モード	説明
タップモード (デフォルト)	モバイル端末画面上にカーソルが表示されず、画面をタップすると  アイコンが1秒間表示されます。 ※モバイル端末を使うように制御したい人向け
仮想マウスモード	マウスカーソル  が表示され、細かい部分の作業が簡単になります。 ※PCを操作するように制御したい人向け

● マウス制御モードによる操作方法一覧

PCでの動作	タップモード	仮想マウスモード
カーソル	なし (タップ時  アイコン表示)	
マウス 左クリック	指1本で画面タップ	仮想マウス以外の画面領域を指1本でタップ
マウス 右クリック	指2本で画面タップ	1) 仮想マウスアイコン内を指1本でタップ (タップ時、アイコン色が変化)  2) 仮想マウス以外の画面領域を指2本で画面タップ
ダブルクリック	指1本で画面を素早く2回タップ	
画面拡大/縮小	指2本で画面を拡大/縮小	
画面移動	指1本で画面ドラッグ	カーソルを画面の端に移動するときに、その方向に自動スクロール
マウスドラッグ	画面を約0.5秒以上タップし、ドラッグ	仮想マウス以外の画面領域をタップし、カーソル色が青色に変わったらドラッグ 
ウィンドウ スクロール	1) スクロールホイールを利用し、上下調節 2) 指2本で画面タップ後、上下にドラッグ	
Windows8 メニュー	1) メトロUI/デスクトップモード切替：下のツールバーニューから上へドラッグ 2) Windows8右側ツールバー：右から左にドラッグ	
モニター切替	指3本で画面タップ後、左右にドラッグ	

4.5.4 キーボードを使用して文字を入力する



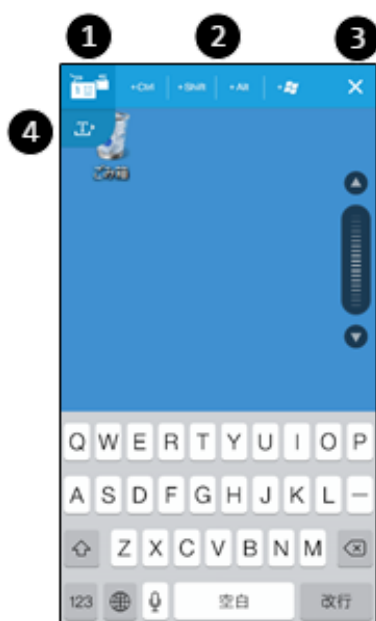
遠隔地PCのキーボードを制御し、文字を入力することができます。

遠隔地PCにある文書やメモを作成する時など、文字入力が必要な場合に使用します。

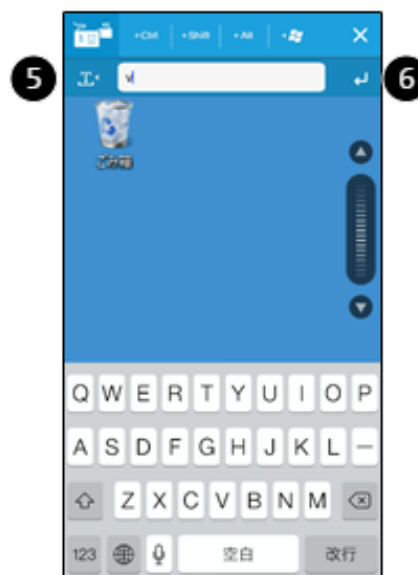
遠隔地PCのキーボードを制御する方法には、「直接入力モード」と「間接入力モード」の2通りがあります。接続時は「直接入力モード」になっています。

ツールバーにあるキーボードアイコン  をタップすると、キーボードが表示されます。

モード	説明
直接入力モード (デフォルト)	入力した内容がすぐにPCに転送されます。
間接入力モード	入力した内容が上段の編集ウィンドウに表示され、右側の入力ボタン  をタップすると入力した内容がPCに転送されます。



直接入力モード



間接入力モード

番号	アイコン	説明
①		特殊キーボードを表示します。再度タップすると、一般キーボードが表示されます。
②		WindowsのHot-keyを他のキーとの組合せで使用できます。
③		キーボードモードを終了します。
④		入力モードが直接入力モードから間接入力モードに切り替わります。
⑤		入力モードが間接入力モードから直接入力モードに切り替わります。
⑥		間接入力モードで入力した内容がPCに転送されます。

AgentがMacの場合、上段のボタン中、AltキーボタンがOptionキーボタンと表示され、WindowsキーボタンはCommandキーボタンと表示されます。

特殊キーボードはキーの代わりにキーが、キーの代わりにキーが表示されます。

※標準キーボード以外をご利用の場合は、キー入力が正常に反映されない場合があります。

4.5.5 画面制御の設定をする

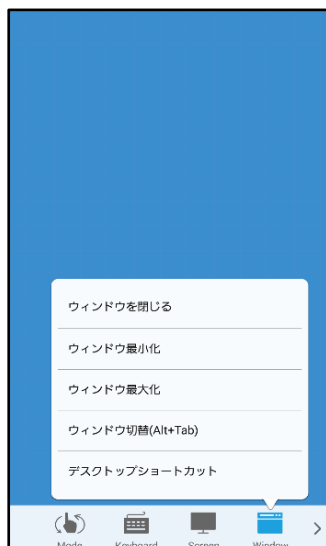
ツールバーにある  アイコンをタップすると、画面制御に関する設定を行うことができます。



メニュー名	説明
モニター切替	遠隔地PCのモニターが2台以上の場合に表示されます。タップすると順番に次のモニターに変更されます。
画面固定	有効にするとビューアに表示される画面が固定され、画面を移動しなくなります。（ON時：  ）
画面自動回転	モバイル端末の回転にしたがって遠隔地PC画面の回転可否を変更することができます。（OFF時：  ） ※iOS6.0以降のモバイル端末では使用できません。
遠隔画面ロック	遠隔地PCのモニター画面がロック処理されます。 ※遠隔地PCのOSがMacの場合には使用できません。
遠隔画面キャプチャー	遠隔地PC画面をキャプチャーし、モバイル端末内に保存します。
端末画面に合わせる	遠隔地PCの画面全体を端末画面に合わせて表示します。
初期画面に合わせる	遠隔制御接続時の初期画面サイズで表示します。

4.5.6 ウィンドウを制御する

ツールバーにある  アイコンをタップすると、遠隔地PCのウィンドウ制御に関する設定を行うことができます。



メニュー名	説明
ウィンドウを閉じる	遠隔地PCで実行中のプログラムウィンドウが終了されます。
ウィンドウ最小化	遠隔地PCで実行中のプログラムウィンドウが最小化されます。
ウィンドウ最大化	遠隔地PCで実行中のプログラムウィンドウが最大化されます。
ウィンドウ切替	遠隔地PCで実行中のプログラムウィンドウが順番に切り替わり、選択することができます。
デスクトップショートカット	遠隔地PCで実行中のすべてのプログラムウィンドウが最小化され、デスクトップ画面が表示されます。

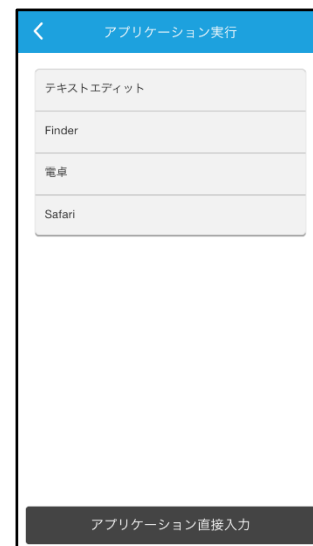
4.5.7 各種制御ツールを使用する



ツールバーにある アイコンをタップすると、遠隔制御に便利なメニューが表示されます。



アプリケーション実行 (Windows)

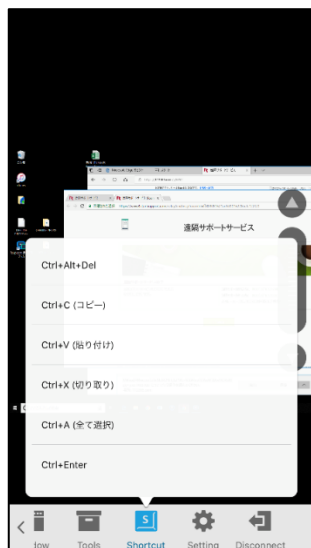


アプリケーション実行 (Mac)

メニュー名	説明
接続情報(セッション情報)	遠隔地PCとのネットワーク接続情報を確認することができます。
プロセス情報	遠隔地PCで実行中のプロセス確認、終了することができます。※遠隔地PCのOSがMacの場合は使用できません。
システム情報	遠隔地PCのシステム情報を確認することができます。 ※遠隔地PCのOSがMacの場合は使用できません。
アプリケーション実行 (上イメージ参照)	頻繁に使用するアプリを簡単に実行することができます。 リストに無いアプリは「アプリケーション直接入力」をタップし、希望のアプリ名を入力後、実行することができます。
ログオフ	遠隔地PCのシステムをログオフします。 ※ログオフ後自動的に再接続されます。
再起動	遠隔地PCのシステムを再起動します。
システム終了	遠隔地PCのシステムを終了します。

4.5.8 ショートカットキーを使用する

ツールバーにある  アイコンをタップすると、遠隔地PCで使用できるショートカットキーが表示されます。



Windowsの場合



Macの場合

Windows	Mac
Ctrl+Alt+Del(タスクマネージャ)	Alt+Cmd+ESC(タスクマネージャ)
Ctrl+C (コピー)	Cmd+C (コピー)
Ctrl+V (貼り付け)	Cmd+V (ペースト)
Ctrl+X (切り取り)	Cmd+X (カット)
Ctrl+A (全て選択)	Cmd+A (すべての項目を選択)
Ctrl+Enter	
Alt+F4 (プログラムの終了)	Cmd+Q (終了コマンド)
Win+D (デスクトップ)	F11 (デスクトップ)
Win+L (システムロック)	-
Win+E (エクスプローラー)	-
Win+R (実行ウィンドウ)	Ctrl+Space(検索)

※Win+LのショートカットキーはWindows8以上の環境では動作しません。

4.5.9 遠隔制御に関する設定を行う

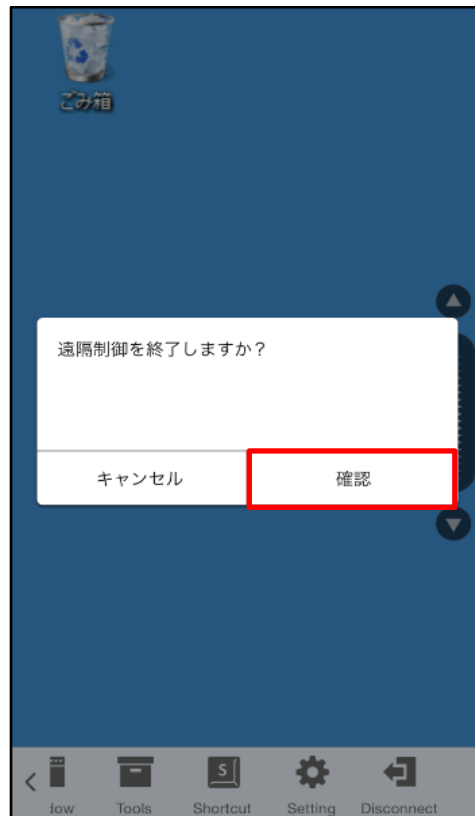
ツールバーにある  アイコンをタップすると、遠隔制御の設定、サウンド共有、操作方法ガイド表示などを実行することができます。



メニュー名	説明
制御品質の設定	遠隔制御画面の品質を選択することができます。 (速度優先/グラフィック優先)
画面の色設定	画面に表示されるカラーを変更することができます。カラーが低いほど制御速度は速くなります。(白黒/256カラー/ハイカラー16bit)
遠隔解像度設定	遠隔地PCの解像度を変更することができます。解像度変更後、遠隔制御が終了すると元の解像度設定に変更されます。
サウンド共有	設定を有効にすると、遠隔地PCのサウンドを聞くことができます。 ※遠隔地PCのサウンドカードによっては、サウンド共有機能に対応していない場合があります。
スクロールホイールボタン	画面上に表示されるスクロールボタンを表示/非表示にします。
操作方法を見る	タップモード/仮想マウスモードの操作方法が表示されます。設定を解除すると遠隔制御開始時に操作方法ガイドが表示されません。

4.6 遠隔制御を終了する

ツールバーメニューにある  アイコンをタップすると、遠隔制御接続が終了されます。



5. 遠隔地PCをコマンドで制御する

遠隔地PCを直接制御せずに、メニューをタップするだけで簡単に遠隔地PCを制御することができます。

(遠隔地PC画面の直接制御に関する詳細は「[4.2. 遠隔地PCに接続する](#)」を参照)



AgentがONの場合



AgentがOFFの場合

番号	メニュー名	Agent状態	説明
①	接続確認(更新)	ON/OFF	遠隔地PCの電源やAgentのログイン状態を更新します。
②	遠隔画面 キャプチャー	ON	遠隔地PC画面をキャプチャーし、モバイル端末内に保存します。
③	登録情報	ON/OFF	遠隔地PC情報や最終制御日などを確認します。
④	ログオフ	ON	遠隔地PCのシステムをログオフします。
⑤	システムの終了	ON	遠隔地PCのシステムを終了します。
⑥	再起動	ON	遠隔地PCのシステムを再起動します。
⑦	Agent削除	ON	遠隔地PCのAgentプログラムを削除します。 削除すると、遠隔制御できなくなります。
⑧	遠隔操作	ON	手元のモバイル端末から遠隔地PCを手元で操作しているかのように遠隔制御することができます。 (詳細は「 4.2. 遠隔地PCに接続する 」を参照)
⑨	電源起動(WOL)	OFF	電源起動ハードウェア製品であるRemoteWOLを利用し、遠隔地PCの電源を起動します。

6. その他

6.1 2段階認証（OTP）を使用する

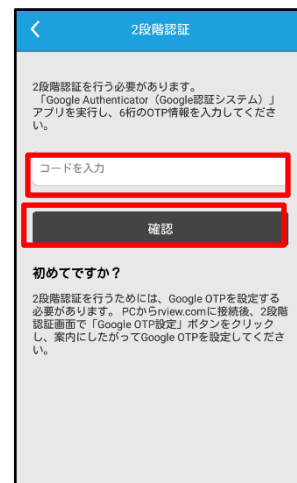
よりRemoteViewを安全にお使いいただくため、RemoteViewログイン時にOTP（One Time Password）を使用することができます。

※本機能は、RemoteView Enterpriseをご利用の方で、管理者によって機能が有効にされている方のみ使用可能です。（詳細については、別冊のEnterpriseマニュアルを参照）

- ③ アカウント情報を入力し、RemoteViewにログインします。
（1段階認証）

A screenshot of the RemoteView login interface. It features a blue header with the RemoteView logo. Below the header, there is a section titled 'Enterprise ユーザーのみ入力' (Enterprise users only). This section contains three input fields: '会社ID' (Company ID), 'ユーザID及びメールアドレス' (User ID and email address), and 'ユーザパスワード' (User password). Below these fields is a checkbox labeled 'ユーザー情報保存' (Save user information) which is checked. At the bottom of this section is a large blue button labeled 'ログイン' (Login).

- ④ 2段階認証を求めるウィンドウが表示されます。Google認証システムアプリを開き、6桁のOTP情報を入力します。

A screenshot of the 2-step authentication screen. The title bar at the top says '2段階認証' (2-step authentication). The main content area has a light gray background and contains the following text: '2段階認証を行う必要があります。 「Google Authenticator (Google認証システム)」 アプリを実行し、6桁のOTP情報を入力してください。' (2-step authentication is required. Please run the 'Google Authenticator (Google authentication system)' app and enter the 6-digit OTP information). Below this text is a white input field labeled 'コードを入力' (Enter code) and a blue button labeled '確認' (Confirm). At the bottom, there is a section titled '初めてですか？' (Are you a first-time user?). This section contains the text: '2段階認証を行うためには、Google OTPを設定する必要があります。PCからrview.comに接続後、2段階認証画面で「Google OTP設定」ボタンをクリックし、案内にしたがってGoogle OTPを設定してください。' (To perform 2-step authentication, you need to set up Google OTP. After connecting to rview.com from a PC, click the 'Google OTP setting' button on the authentication screen, and follow the instructions to set up Google OTP).

⑤ ログイン後、パソコンリストが表示されます。



6.2 端末から言語を変更する

RemoteViewは、日本語だけでなく英語、韓国語、中国語(簡体、繁体)に対応しています。
端末の設定から言語環境を変更すると、RemoteViewアプリの言語も変更されます。

設定 > 一般 > 言語環境 > 言語から言語を選択後、「完了」をタップします。



テクニカルサポート

このマニュアルは遠隔支援全般に対するご理解と、AnyClutch Remote に対する内容を初級者の方でも十分に理解して、AnyClutch Remote を便利に使用できるようにすることを目的としています。しかし、このマニュアルを通してご不明な点や十分な情報を得ることができなかった場合には、次の内容を参考にしてください。

トラブルシューティング

下のサイトで AnyClutch Remote に対する技術的な質問の解答と、最新ヘルプ情報を探することができます。収録されていない質問に対しては Help Desk までご連絡下さい。

<http://www.anyclutch.jp/anyclutch/manual3.html>

Help Desk

このマニュアル中でご不明な点や上記サイトに収録されていない質問については、**ご購入先**までご連絡下さい。

2 次緊急連絡先 - 株式会社エアー プロダクト・カンパニー

E-Mail : support@anyclutch.jp

企画・運用 株式会社エアー

© 2022 AIR Company Limited.

Copyright © 2022 AIR Company Limited. All rights reserved.

開発 RSUPPORT 株式会社

© 2001-2020 RSUPPORT CO., LTD

Copyright © 2001 - 2020 RSUPPORT CO., LTD. All rights reserved.